

現状と課題

<p>人口</p>	<p>平成22年度 17.4万人 20年後 16.1万人(予測)</p> <p>● 20年後の人口は、 ・ 1.4万人(約8%)減少 ・ 高齢化率が30%を超える ・ 少子化率が10%を下回る(9.2%まで進展)</p>	<p><現状></p> <ul style="list-style-type: none"> 平成22年の人口は、17万4,314人、平成23年は前年に比べやや減少しています。 <p><課題></p> <ul style="list-style-type: none"> 平成23年度本市将来人口推計によると、総人口は、平成24年にピークを迎え、平成42年には約16万1千人になると推計されています。
<p>施設</p>	<p>平成22年度 築30年以上 63% 築30年未満 37%</p> <p>● 20年後の施設は老朽化がさらに進行する</p> <p>● 津波浸水予想エリア内に立地する施設への早急な対応が必要</p>	<p><現状></p> <ul style="list-style-type: none"> 本市では、約39万㎡(市民1人当たり床面積が2.23㎡/人)の公共施設を保有しています。 <p><課題></p> <ul style="list-style-type: none"> かつての経済成長、人口増加に合わせて整備してきた公共施設が、20年後には、老朽化がさらに進行し、現在保有する施設(延床面積39.5万㎡)の97%が築30年以上となります。
<p>財政</p>	<p>● 今後40年で公共施設の維持にかかる費用は、現状の施設を維持した場合、年平均56億円必要で、現状の2.8倍の費用の確保が必要となる</p> <p>● 今後、市の財源で投資的経費を確保することは厳しい</p>	<p><現状></p> <ul style="list-style-type: none"> 義務的経費(人件費、公債費、扶助費)が、微増となっており、特に扶助費は約2.5倍と財政の硬直化が進行しています。 <p><課題></p> <ul style="list-style-type: none"> 老朽化した施設が多く、今後、施設の維持、更新に必要な費用は年間平均56億円と直近3年間と比較して毎年36億円の財源不足が予測されています。

このままでは・・・

(※上記データは平成22年度時点です)

財源不足のため、全ての施設を維持、更新することができず、現状の予算で適正な維持管理を行うためには、単純計算では約65%の施設を減らさなくてはなりません。

何も対応せず、本来すべき修繕を行わなければ、施設が老朽化して、安心して使用できなくなり、運営に支障が出ることも予想されます。

● 下記ホームページ「公共施設再編の取組み」には、さらに詳細な取組み情報を掲載しておりますので、併せてご参照ください。

URL : <http://www.city.kamakura.kanagawa.jp/keiki/facility.html>

■ あなたの鎌倉市の公共施設の利用状況などについてお聞かせください。

問 11 あなたは過去 1 年間に鎌倉市の公共施設をどのくらい利用しましたか？

以下の施設ごとに 1 つお答えください。

	1. 定期的に 利用した	2. たまに 利用した (2~3ヶ月に 1回程度)	3. ほとんど 利用して いない(半年 に1回程度)	4. 過去 1 年 以内には 利用して いない	5. 今まで 一度も 利用した ことがない
市役所	1	2	3	4	5
支所〔行政センター内〕	1	2	3	4	5
市民サービスコーナー 〔大船ルミネウイング内〕	1	2	3	4	5
鎌倉生涯学習センター (きらら鎌倉)	1	2	3	4	5
各地域の学習センター 〔行政センター内〕	1	2	3	4	5
中央図書館	1	2	3	4	5
(腰越・深沢・大船・玉縄) 図書館〔行政センター内〕	1	2	3	4	5
鎌倉青少年会館, 玉縄青少年会館	1	2	3	4	5
子ども会館	1	2	3	4	5
子育て支援センター (3 施設)	1	2	3	4	5
勤労福祉会館 (レイ・ウエル 鎌倉の会議室・ホール 等)	1	2	3	4	5
福祉センター	1	2	3	4	5
老人福祉センター, 老人いこいの家 (こゆるぎ荘)	1	2	3	4	5
鎌倉芸術館	1	2	3	4	5
文化施設 (国宝館・文 学館・鎗木清方記念美術 館・川喜多映画記念館 等)	1	2	3	4	5
鎌倉体育館	1	2	3	4	5
見田記念体育館	1	2	3	4	5
大船体育館	1	2	3	4	5
鎌倉武道館	1	2	3	4	5
こもれび山崎温水プール	1	2	3	4	5
市営プール (鎌倉海浜公園水泳プール)	1	2	3	4	5
屋外スポーツ施設 (笹田公園グラウンド・野 球場・テニスコート 等)	1	2	3	4	5
その他の公共施設 (記入欄:)	1	2	3	4	5

問 12 【問 11 で「3. ほとんど利用していない」、「4. 過去 1 年以内には利用していない」、
「5. 今まで一度も利用したことがない」と回答された方に】

あなたが鎌倉市の公共施設を利用されない理由は何ですか？（複数回答可）

- ① 利用する必要がない
- ② 利用料金が高い
- ③ 自分の希望時間に施設を利用できない
- ④ 施設までのアクセスが不便である
- ⑤ 他市の同種の施設を利用している
- ⑥ 民間の同種の施設のサービス（設備・対応）の方が良い
- ⑦ その他（記入欄： _____）

問 13 鎌倉市の公共施設の量やサービスの内容は他の市町村と比べて充実していると思えますか？ 以下の施設ごとに1つお答えください。

	1. 充実している	2. 普通である	3. 充実していない	4. よくわからない	5. 施設を知らない
支所（4 施設） 〔行政センター内〕	1	2	3	4	5
市民サービスコーナー 〔大船ルミネウィング内〕	1	2	3	4	5
鎌倉生涯学習センター、 学習センター（4 施設）	1	2	3	4	5
図書館（5 施設）	1	2	3	4	5
小学校（16 校）	1	2	3	4	5
中学校（9 校）	1	2	3	4	5
保育園（6 施設）	1	2	3	4	5
青少年会館（2 施設）	1	2	3	4	5
子ども会館（14 施設）	1	2	3	4	5
子どもの家（15 施設）	1	2	3	4	5
子育て支援センター（3 施設）	1	2	3	4	5
福祉センター	1	2	3	4	5
老人福祉センター（4 施設）、 老人いこいの家	1	2	3	4	5
勤労福祉会館（レイ・ウェル 鎌倉の会議室・ホール 等）	1	2	3	4	5
鎌倉芸術館	1	2	3	4	5
文化施設（国宝館・文学 館・鍋木清方記念美術館・ 川喜多映画記念館 等）	1	2	3	4	5
屋内スポーツ施設 （体育館 等）	1	2	3	4	5
プール施設	1	2	3	4	5
屋外スポーツ施設 （苗田公園グラウンド・野球 場・テニスコート 等）	1	2	3	4	5
市営住宅	1	2	3	4	5

問 16 公共施設にかかる経費を縮減するために、公共施設の総量（施設数）を減らしていかなければならなくなった場合、どのような施設から削減していけば良いと思いますか。削減しても良いと考える施設を全て選んでください。（複数回答可）

- ① 老朽化が著しい施設
- ② 利用度や稼働率が低い施設（あまり利用されていない施設）
- ③ 同じような施設や代わりに使用できる施設が近隣にある施設
- ④ 人口構成の変化などにより、市民ニーズに合わなくなった施設
- ⑤ 運営経費の高い施設
- ⑥ 市内全域で利用するような施設（鎌倉芸術館、スポーツ施設、青少年会館など）
- ⑦ 各地域で利用するような施設（行政センター、子ども会館、老人福祉センターなど）

問 17 公共施設を利用する際に、学習センターやスポーツ施設では施設使用料を支払いますが、現在、利用者が支払う使用料は、施設の運営に要する経費全体の 10～30%程度であり、残りは税金でまかっています。

受益者負担の原則から、利用者が負担する費用はどれくらいが適当だと思いますか？あなたのお考えに最も近いものを1つ選んでください。

※受益者負担とは、公共施設（サービス）の利用者（受益を受ける者）がその内容に応じてその経費を負担することです。

- ① 必要な全ての経費を利用者が負担するべきである。
- ② 使用する照明や空調などの光熱水費相当分は利用者が負担するべきである。
- ③ 民間の同種の施設と同等程度は利用者が負担するべきである。
- ④ 負担の必要はない。

問 18 今ある公共施設を全て維持していくことが困難な中、あなたが力を入れるべきと考える防災拠点となる公共施設の防災対策は何だと思いますか？次の中から3つまで選んでください。

- ① 十分な避難スペースの確保
- ② 非常食などの備蓄や、備蓄場所の充実
- ③ ボランティア活動が速やかに行われるようにするための対策
- ④ 建築物等の耐震性の強化
- ⑤ 災害時の安全な水の確保のための建築設備等の対策（受水槽・井戸等）
- ⑥ 調理設備の充実
- ⑦ 冷暖房設備、給湯設備（シャワー設備等）の充実
- ⑧ 自家発電設備（非常用電源）の設置
- ⑨ 津波浸水予測エリア内に位置する公共施設の津波浸水エリア外への移転
- ⑩ 津波浸水予測エリア内に位置する公共施設の耐浪化、津波一時避難施設としての整備
- ⑪ 今のままで良い（必要以上に防災対策に税金を使うべきではない）
- ⑫ その他（記入欄： _____)

問 19 公共施設にかかる経費を縮減するために、公共施設の今後の運営方法のあり方・サービス（機能）の必要性について、どのように思いますか？ 以下の施設ごとに1つお答えください。

	1. 市で運営すべき	2. 指定管理者制度等の導入（民間事業者等による施設管理）	3. 民間にすべて任せるべき（民営化）	4. 利用者が負担する費用の見直し	5. 不必要である（税金を使うべきではない）
支所	1	2	3	4	5
鎌倉生涯学習センター、学習センター	1	2	3	4	5
図書館	1	2	3	4	5
小学校	1	2	3	4	5
中学校	1	2	3	4	5
保育園	1	2	3	4	5
青少年会館	1	2	3	4	5
子ども会館	1	2	3	4	5
子どもの家	1	2	3	4	5
子育て支援センター	1	2	3	4	5
福祉センター	1	2	3	4	5
老人福祉センター、老人いこいの家	1	2	3	4	5
勤労福祉会館（レイ・ウェル 鎌倉の会議室・ホール 等）	1	2	3	4	5
鎌倉芸術館	1	2	3	4	5
文化施設（国宝館・文学館・鍋木清方記念美術館・川喜多映画記念館 等）	1	2	3	4	5
屋内スポーツ施設（体育館 等）	1	2	3	4	5
プール施設	1	2	3	4	5
屋外スポーツ施設（笛田公園グラウンド・野球場・テニスコート 等）	1	2	3	4	5
市営住宅	1	2	3	4	5

問 20 公共施設についてのご意見を自由にご記入ください。

記入欄：

ご協力ありがとうございました。

お手数ですが、**平成 24 年 12 月 19 日（水曜日）まで**に同封の返信用封筒にこの 3 枚綴りのアンケート用紙のみを入れて、投函をお願いいたします。